

MITSUBISHI

ドーム型カラーカメラ

形名 CIT-721A

据付工事説明書

(販売店・工事店さま用)

安全のために必ず守ること	2
据付上のお願い	2
同軸ケーブルの接続方法	3
同軸ケーブルについて	6
設置方法について	7
1. 取付位置について	8
2. カメラ本体の取付について	9
3. カメラカバーの取付について	10
レンズカバーの着脱方法について	11
据付工事後の確認	12
試運転	12

警告

- 据付工事は、販売店または専門の工事店が実施してください。
間違った工事は、故障や事故の原因になります。
- 据付工事部品は必ず付属部品および指定の部品をご使用ください。
当社指定部品を使用しないと故障の原因となります。

安全のために必ず守ること

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この工事説明書及び取扱説明書の「安全のために必ず守ること」をよく読んで、注意事項を必ず守ってください。また、以下の事項は、安全のために必ず守ってください。

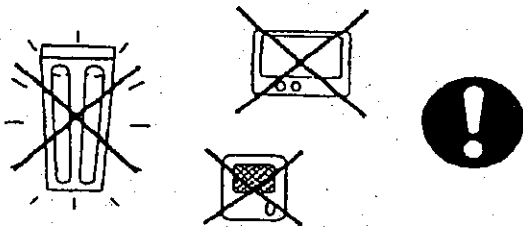
1. 工事されるときは、接続機器類の電源プラグを必ず抜いてから行ってください。
2. 工具は適合したものを使用してください。
3. 据付場所が高い場合は、頑丈な据付台（手すり付き）から作業してください。

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

	禁止		指示を守る
--	----	--	-------

据付上のお願い

◎カメラケーブルの配線に際して電灯線やテレビのアンテナ配線に近づけて引き回したり、インターホンやモニタの近くにある場合、映像やインターホンに雑音が入る場合があります。その時は配線や位置を変えてください。



◎テレビやラジオの送信アンテナ、モータやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、雑音が入ったり映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、カメラケーブルに薄銅電線管を設けて通電してください。
2系統以上のシステム構成のときは、システム毎に電線管を設けてください。



◎取付場所はカメラの重量に十分耐える所を選んでしっかり固定してください。
取付け強度が不足していると、モニター上で映像がブレたり、最悪の場合落下の危険があります。



◎カメラを設置される周囲の温度は、0℃～+40℃、湿度は80%以下（結露しない場所）でご使用ください。
特に調理室やボイラー室など温度や湿度の高い所での使用は、性能を低下させますので離れた位置でご使用ください。



カメラユニットは、使用しているかいないにかかわらず直射日光や強い光の方向に向かないように設置してください。



カメラユニット、カメラコントロール間の最大延長距離は3C-2V相当で200m、5C-2V相当で500mです。



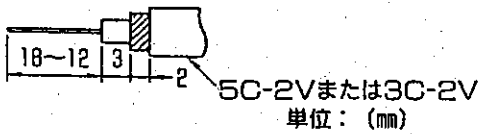
同軸ケーブルの接続方法

CIT-721Aは、カメラ本体背面からの接続と、本体側面からの2種類のうちどちらかを選択することができます。それぞれ同軸ケーブルの接続方法が異なりますので、以下の説明をよくお読みください。また、同軸ケーブルのコントローラ側には、F型コネクタを加工する必要があります。「カメラ本体背面から接続する場合」の要領にしたがって、加工を行なってください。

◎カメラ本体背面から接続する場合

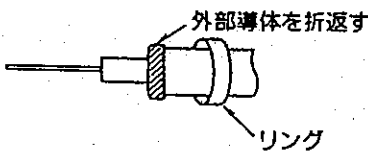
カメラ本体背面から同軸ケーブルを接続する場合、カメラ背面からはF型コネクタとの接続となりますので、付属のF型コネクタを接続する同軸ケーブルに加工する必要があります。以下の順序に従って、加工を行なってください。

①



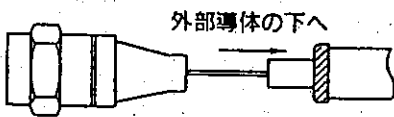
①ケーブルを図のように加工します。

②



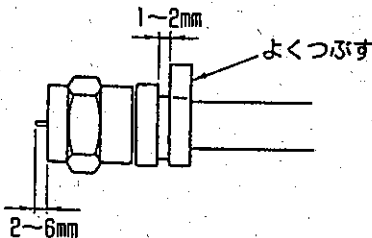
②リングをケーブルに通し、外部導体を折り返します。

③



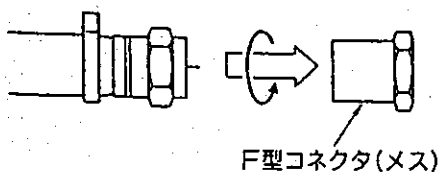
③ケーブルのシースがシェルに当たるまで、コネクタシェルを外部導体の下にすべり込ませます。

④



④リングをシェル側にすべらせてペンチでつぶします。

⑤



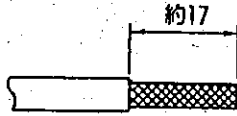
⑤F型コネクタ(メス)の中心に内部導体がささるように差し込み、リングを回してしっかりと締めつけます。

◎カメラ本体側面から接続する場合

カメラ本体側面から同軸ケーブルを接続する場合、同軸ケーブルはベースユニットのケーブルクランプに取付けます。

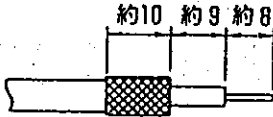
以下の順序に従って、同軸ケーブルの加工および取付けを行なってください。

①



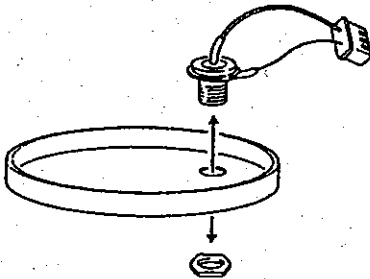
①同軸ケーブルの外被を約17mm切り取ります。

②



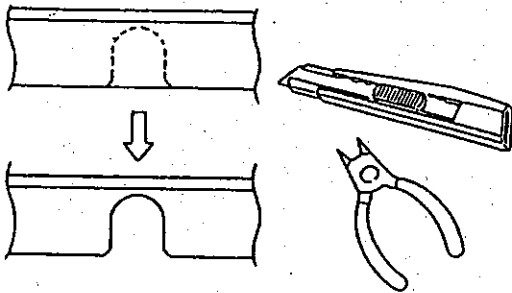
②外被の切り口より9mmのところまで絶縁体を切り取り、編組線を10mmの長さに切断し、外被に被せます。

③



③ベースユニットからF型コネクタ(メス)を取り外します。

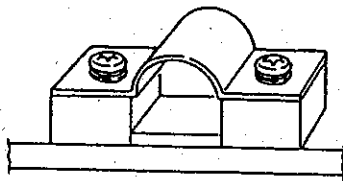
④



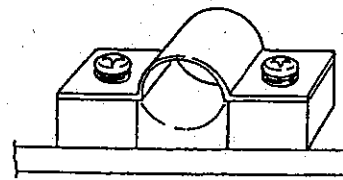
④ベースユニット側面にあるツメの部分のカッターあるいはニッパなどで切り取ります。

注) ツメの部分は2箇所設けてありますが、接続する同軸ケーブルの太さにより異なります。ケーブルクランプ下のベース肉厚が厚いほうが3C-2V相当、ベース肉厚の薄いほうが5C-2V相当となりますので、ツメを切り取る前によくご確認ください。

工場出荷時は、5C-2V相当側にケーブルクランプが付いています。



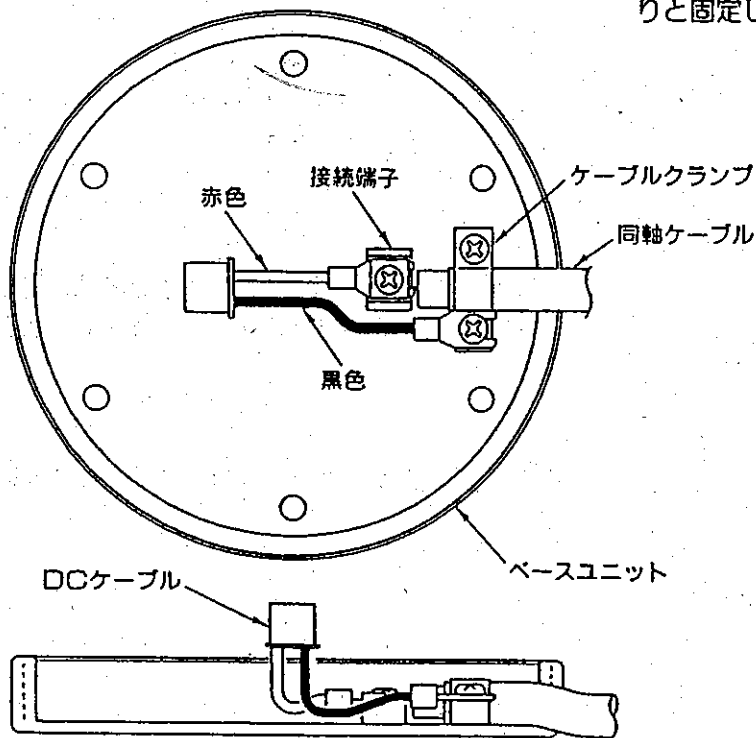
5C-2V相当



3C-2V相当

⑤

⑤ ツメを切り取った穴から同軸ケーブルを通し、ケーブルクランプおよび接続端子のネジを外して付属品のDCケーブルを取付けてからネジを締め、しっかりと固定します。



注) 付属品のDCケーブルは、赤色の線を接続端子へ、黒色の線をケーブルクランプに接続するようにしてください。反対に接続されるとショートし、非常に危険な状態になりますので、くれぐれも間違いのないよう、ご注意ください。

同軸ケーブルについて

カメラ、コントローラ間で使用される同軸ケーブルの最大延長距離は、3C-2V相当で200m、5C-2V相当で500mです。最大延長距離以下でご使用ください。

また、3C-2Vおよび5C-2Vの同軸ケーブルは、内部導体を覆う絶縁体の材質にポリエチレンを使用しているため内部導体が温度変化により伸縮し、まれに接点の接触不良を起こす場合があります。より安全に、確実に使用されることを希望される場合、3C-2VケーブルのかわりにTVEFCXケーブルを、5C-2Vケーブルのかわりに5C-FBケーブルを使用されることをお勧めします。

同軸ケーブルの仕様・構造

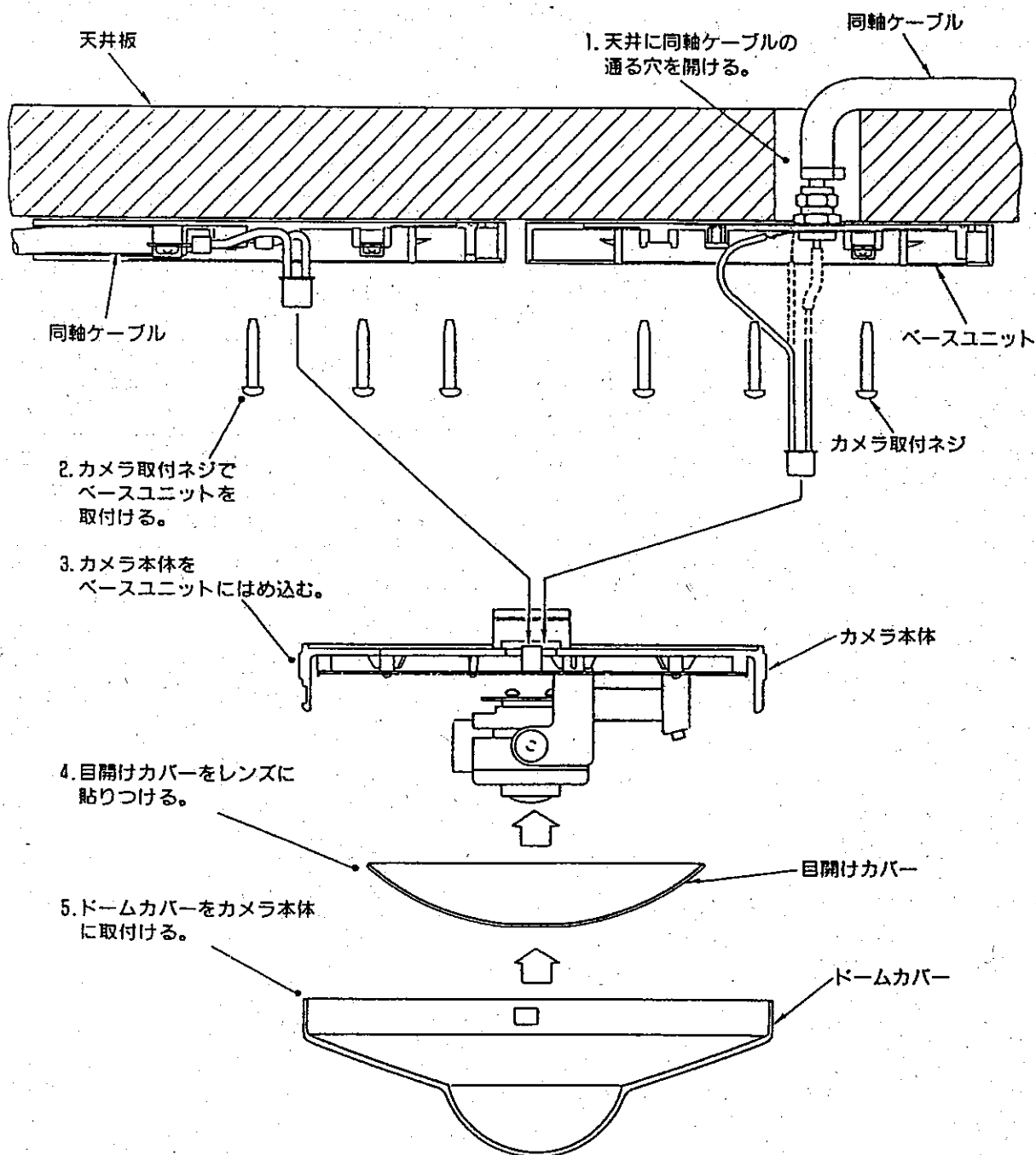
	5C-2V	3C-2V	5C-FB	TVEFCX
内部導体材質	軟銅線	軟銅線	軟銅線	軟銅線
内部導体外径	0.8mm	0.5mm	1.05mm	0.8mm
絶縁体材質	ポリエチレン	ポリエチレン	発泡ポリエチレン	発泡ポリエチレン
絶縁体外径	5.0mm	3.1mm	5.0mm	3.7mm
外部導体	軟銅線編組	軟銅線編組	両面アルミ箔張付 ポリエステルテープ縦添え +すすめっき軟銅線編組	軟銅線編組
被覆材質	黒色ビニル	黒色ビニル	黒色ビニル又は 灰色ビニル	灰色ビニル
ケーブル外径	7.5mm	5.6mm	7.7mm	6.0mm
ケーブル総重量	80kg/km	50kg/km	63kg/km	48kg/km

設置方法について

同軸ケーブルのベースユニットへの取付方法については「同軸ケーブルの接続方法」(3頁)を参照してください。

[本体側面から同軸ケーブルを接続する場合]

[本体背面から同軸ケーブルを接続する場合]

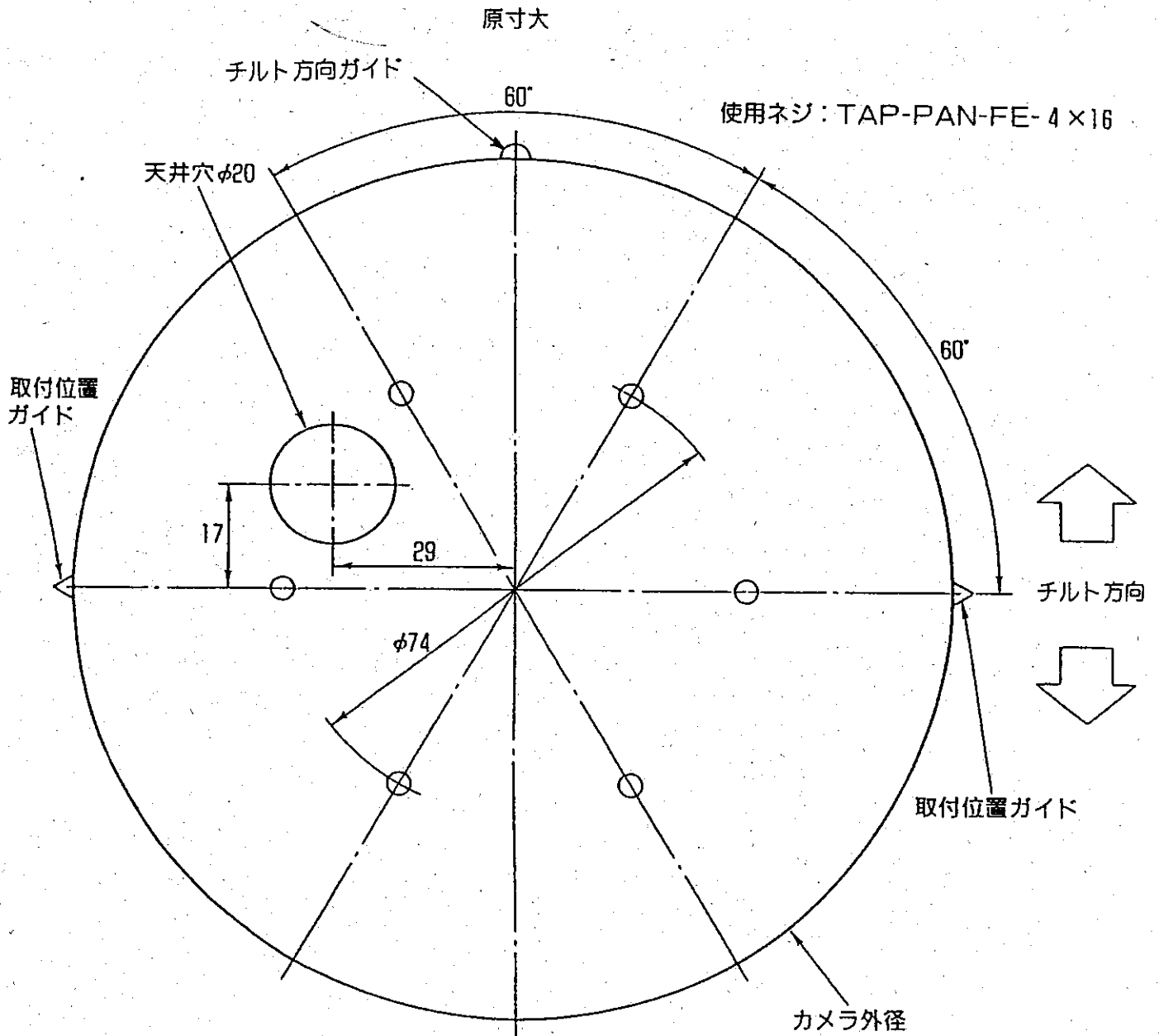


⚠ 注意

天井に十分な強度がある
ことを確認してから施工
してください。

[1. 取付位置について]

ベースユニットの取付ネジ位置と、F型コネクタ取付穴（カメラ本体側面から同軸ケーブルを取付ける場合は不要）の位置を下図に示します。



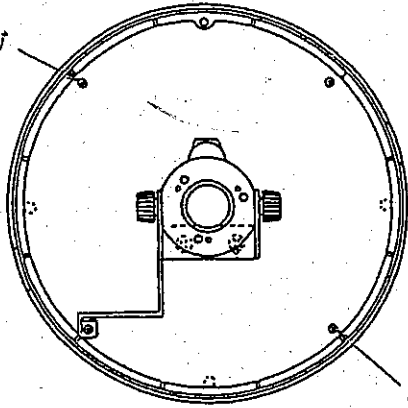
ベースユニットの取付は、6ヶ所の取付穴から3ヶ所を選択し、ネジ止めを行なってください。通常は荷重を分散させるため、 120° 毎でのネジ止めをお勧めします。

また、取付位置ガイドを上図のようにカメラの左右に合わせた時、カメラで調整可能なチルト方向は上下方向となりますので、チルト方向を十分考慮した上でベースユニットの取付を行なうようにしてください。

[2. カメラ本体の取付について]

①

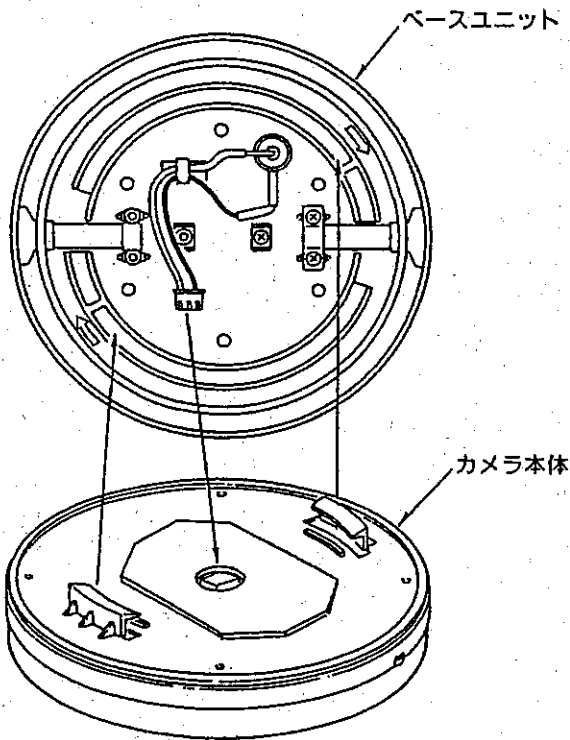
パン方向固定ネジ
(黒色ネジ)



パン方向固定ネジ
(黒色ネジ)

①カメラ本体の左図の位置にあるパン方向固定ネジを緩めます。(黒色ネジ2本)

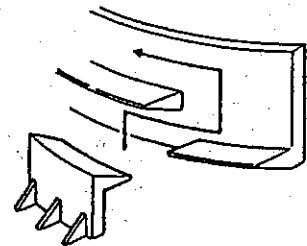
②



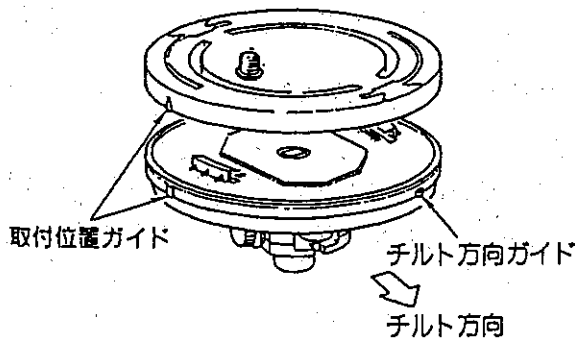
カメラ本体

②ベースユニットを天井または壁面に取付けたのち、まずDCケーブルをカメラ本体背面のハウジングに差し込みます。その後、下図のようにベースユニットに刻印されている矢印とカメラ本体背面のツメの部分を合わせて矢印方向(時計回り)に回転させ、1段下がった後、矢印方向と反対(反時計回り)に回転させます。

(ベースユニット側面の溝とカメラ本体背面のツメを下図のようにスライドさせて組み合わせます。)



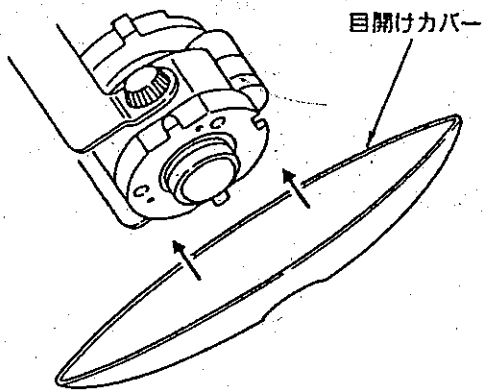
③



③ベースユニット側面とカメラ本体側面にある取付位置ガイドがまっすぐにそろった位置が中心です。中心からパン方向に±60度画角を調節することができます。調節後は、必ずパン方向固定ネジを締めつけて画角を固定してください。

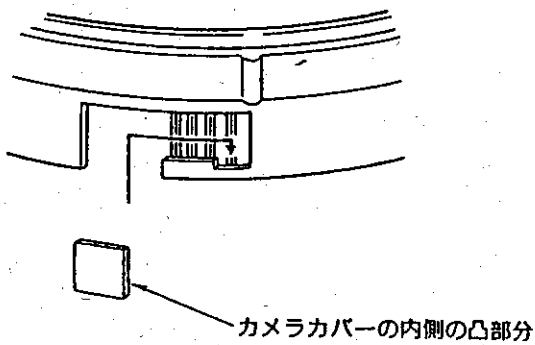
[3. カメラカバーの取付について]

①



①カメラカバーを取付ける前に目開けカバーの裏面の両面テープのセパレータをはがしてレンズに貼り付けます。

②



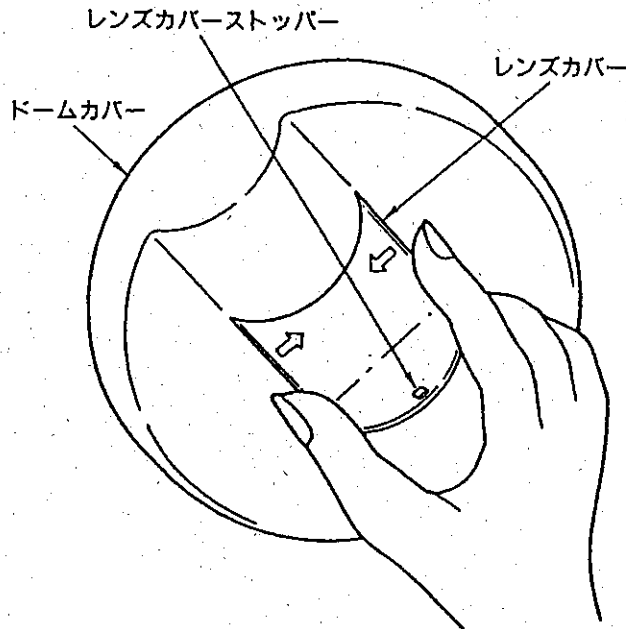
②カメラ本体側面の溝にカメラカバー内側の凸部分をスライドさせて組み合わせます。このとき、カメラ本体側面の取付ガイドとカメラカバー側面の取付ガイドがまっすぐになるまで回します。

レンズカバー着脱方法について

ドームカバー前面のレンズカバーは、標準で50%の透過率のスモークガラスを取付けてあります。付属品として透過率80%のレンズカバーを添付していますが、明るさが不足するような場合などレンズカバーの取り替えを行なう場合は、以下の要領に従ってください。

①

①レンズカバーは指で矢印の方向に力を加え、手前に引くとはずれます。



注) 装着時は、レンズカバーの内側がドームカバーのレンズカバーストッパーに必ず当てて、はずす時と反対の順序で行なってください。

据付工事後の確認

据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら、必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

● 安全性に係わる事項

No.	項目	判定
1	金属類や燃えやすいものを内部に入れていないか。	YES NO
2	他のものを上に置いていないか。	YES NO
3	指定のコントローラを使用しているか。	YES NO
4	ケースをはずしたり、改造したりしていないか。	YES NO
5	衝撃、振動のある所に設置していないか。	YES NO
6	据付場所は、カメラの重量に十分耐えられるか。	YES NO
7	据付場所に合った据付ネジを使用しているか。	YES NO
8	コントローラ側でコネクタの抜けることはないか。	YES NO
9	ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしていないか。	YES NO
10	直射日光の当たる所や熱器具のそばに設置していないか。	YES NO

● 性能・機能に係わる項目

No.	項目	判定
1	使用場所の周囲温度・湿度は規格内か。	YES NO
2	コントローラの使用電源は AC90~110V の範囲内か。	YES NO
3	同軸ケーブルの近くに電力、アンテナケーブルが配線されていないか。	YES NO
4	コントローラ~カメラ間のケーブル長は、指定距離を超えていないか。	YES NO

試運転

- 試運転は、お客様及び販売店の立ち会いのもとで行ってください。
- 別冊の取扱説明書に基づいて、操作手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店からご説明ください。特に、「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。